

私は18の時に、この笑寿苑で働き始めましたが、まず一番運が良かったと思うのは、ショートステイをさせてもらったことです。何も知らずに仕事をやり始めた私には、ショートほど勉強になり楽しいところはなかったと思います。

多くの人と接することで、色々な人が利用されるということを実感できますし、多くの人の生活パターンや対応方法を知ることが出来ました。

その中でも数少ない「このショートに行きたい」と思っておられる方々ほど、素直に最初から嬉しいことはありません。その方々は、家族に面倒を掛けたくないという人も居れば、話しをちっとも聞いてくれないし、まず会話もしないという人もおられました。

介護の仕事をやっていると、どうしても介助が多く必要な方を優先しないといけない時ばかりです。ご自分で出来る方を一人にしてしまうことも多くなります。

だからこそ、少しの時間でもその方達がこのショートでの居場所が、活躍出来る場所が、必要とされる場所が大切になると、大切にしてあげたいと思っています。

そして、しっかりとっておられるからこそ、排泄等の（パット確認等の）介助を行う時にはより自然にケア出来るように気を付けています。

おそらく他の職員の方とは違う話しになってしまうかも知れませんが、私は介護福祉士を取る前に時間があつたので一年前にネイリスト3級を取りました。なかなか時間が作れず、多くの方にはまだ出来ていないのですが、少しずつ（主に女性ですが）爪を磨いてツヤを出したり、シールを貼ったり、爪の角が痛くないよう丸く整えたりしています。

皆さん、一本隣の指と磨かれた指を見て「これがこんなになった！！」「光つとるよ！！」と喜んで下さいました。爪は乾燥や貧血、内臓の調子によりスジが入ったり色が変わったりしますが、基本、体の中でも若い人と変わらない部分です。水虫等あり、厚くなってしまっても、きちんと削ってあげればきれいになります。（それがスムーズに出来る良い爪ヤスリが5千円くらいするのですが…）今は私の出来る範囲で、今までとは少し違う活動をしています。

ショートでは家族の方がどう思われるか分からないので磨くまでですが、既存の方にはシール一名ほど優しいピンクのカラーを塗ってあげたこともあります。

家族の方も「うらやましいわ」と言って下さった様でした。

他の県では出張でプロのネイリストの方が施設に来られる所もありますが、この付近ではなさそうなので、ケアとして、そして心や気分を明るくする一つの手段として今年やってみるところです。次は巻き爪のケアについても学びたいと思っています。

ショートで来られる方でおおよそ自立しておられる方と1対1でゆっくりと過ごす時間はなかなか出来ませんが、施術後は男性も女性もとても喜んで下さいました。

それはきっときれいになった喜びと、自分の為にこれだけ時間を作ってくれたのだという二つの喜びがあるのではないかと思います。

家やデイサービスとはまた一つ違うショートステイだからこそ、ゆっくりとしたケア

ができると思います。(全国的にもネイルレクと名前までついていますよ。)
私はよく八方美人になりがちですが、この仕事は思う存分にご利用者の方に八方美人で働き、かつ、不信感を与えない位、それに応えていけるようになりたいです。

私は介護福祉士は欲しいですが、今はケアマネージャーはそこまで欲しくありません。皆が持っているものと同じものを持っていても、せっかくのチームなのだし、それぞれが少しずつ何かの突出した知識を持っているのも一つの形なのでは、と思います。これは22才の私の勝手な考えですが、これからも「介護」だけど「介護」の枠に捉われないケアができるようになりたいです。